



第1246号

No.21

2024年12月17日



2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

THE MAGIC OF ROTARY

「ロータリーのマジック」

RI会長 ステファニー A. アーチック

2024-25年度 東京恵比寿ロータリークラブのテーマ

「温故創新 ～未来のために！ 誰かのために！ with a smile～」

Bridging Tradition And New,
For The Future! For The Someone! with a smile

会長 武田 博史

12.17 本日のプログラム

クリスマス家族会

今後のプログラム

12月24日～1月7日 休会

1月14日 新年(夜間例会)

1月21日 卓話「2024-25年度 東京恵比寿RACの
活動方針と活動内容のご報告」
東京恵比寿ローターアクトクラブ 会長 江口 祐里さん

1月28日 卓話「脚本家の仕事」 脚本家 羽原 大介さん

例会出席者数 12月10日 第1287回例会

ゲスト
Guest 梅澤 高明さん(ゲストスピーカー)
高橋 勉さん

ビジター
Visitor 守屋 弓男さん(東京RC)
那須 朗良さん(東京目白RC)
菊地 克之さん(東京目白RC)
星野 里未子さん(東京銀座新RC)

出席報告 ゲスト・招待 2名
国内ビジター 4名
出席者数 52名

米山梅吉記念館訪問×熱海ホテル寛一懇親会

米山記念奨学委員会 委員長 大野 宏樹さん

11月29日 15名でバスに乗り込み、米山梅吉記念館へ。後部をサロンシートにして溝上さん、安藤邦子さん、河合さんからも差し入れを頂き、途中車内でお弁当を食べ記念館へ。今回は4名の初訪問会員もおられ、来年改装して内容も変わる記念館で米山梅吉爺について勉強しました。今回のイベントはフォローアップ、親睦活動委員会との3委員会協力し、奉仕も親睦も温泉同好会もカラオケ同好会も全部皆で楽しむことができました。ご参加いただいた計18名の会員の皆様、差し入れ頂いた皆さん、本当に御協力ありがとうございました。

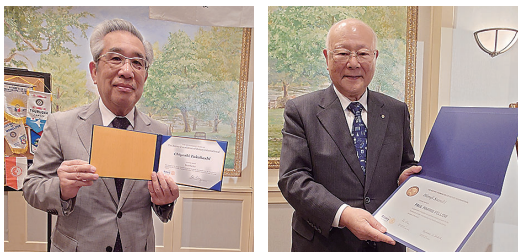


国際奉仕委員会

委員長 山田 康さん

来年の6月のカルガリーの国際大会の事前登録の早期割引の期限が12/15に迫って来ております。12/15までであれば525ドル、それ以降は100ドル高くなります。参加予定の方はお早めにお手続き下さい。参加を迷われている方も是非ともご参加頂きますよう、お願い申し上げます。

ロータリー財団表彰



ベネファクター

高橋 千善 会員

マルチプルPHF

鈴木 宏治 会員 戸部田 馬準 会員

マルチプルPHF (+1) ●

妹尾 八郎 会員 丸山 勝 会員

マルチプルPHF (+2) ●●

黄 舜範 会員

マルチプルPHF (+5) ●●●●●

神谷 一雄 会員

マルチプルPHF (+7) ●●●●●●●

小幡 敏之 会員



A.T.カーニー日本法人 会長
CICジャパン 会長
一般社団法人
ナイトタイムエコノミー推進協議会 理事

うめざわ たかあき

梅澤 高明 さん

これからの観光立国 ～富裕層観光とサステナブルツーリズム～

日本のインバウンド観光は、第2次安倍政権の頃から成長戦略の最優等生でした。訪日客数は8年間で5倍以上伸び、コロナ前には3200万人になりました。2024年度は史上最多の3500万人に到達するだろうと言われていています。しかし大事なことは人数よりも消費額です。コロナ前は顧客単価が15万円台で停滞していたことから、それを突破するため私は2020年から観光庁による富裕層観光の方針策定に座長として携わることになりました。ところがコロナが明けると政策の実行がまだ本格化していないにもかかわらず、一気に消費額が増えて昨年度は5.3兆円、顧客単価は21万円を超えました。今年度は8兆円規模ののぼる見通しで、顧客単価は23万円と予想されています。ここまで伸びた要因は急激な円安もありますが、比較的富裕層の方が訪日するようになったことがあります。政府は2030年度に観光消費額15兆円という目標を掲げていますので、達成すれば自動車にほぼ並ぶ水準です。米国の次期トランプ政権下で自動車の輸出が減ることが予想され、インバウンド観光が日本最大の外貨獲得産業になる日も遠くありません。

2年前の世界経済フォーラムの旅行・観光開発ランキングでは、日本が世界1位になりました。交通インフラの利便性、自然や文化の豊かさ、治安のよさが高く評価されたことでした。訪日観光客は1回訪れるとほぼ間違いなく満足し、また来たいと言ってくれています。一方、観光業界の一番の課題は生産性が低いことです。労働生産性では全産業の6割、賃金水準は全産業平均の半分です。これを改善するためには観光DXによる効率化も必要ですが、富裕層にもっと来てもらって単価を上げ、その結果として事業の収益性を上げ、従業員への配分を増やすことが重要です。私見ながら、顧客ターゲットとして欧米豪の訪日客と富裕層を取り込むこと、リピーター層が楽しめるようにすること、これらを通じて地域にお金が落ちる仕組みの観光をつくるのが大事なテーマだと思います。今、観光庁は持続可能な観光地域づくり戦略に取り組んでいますが中でも最も重要だと思うのが、地方に上質な宿泊

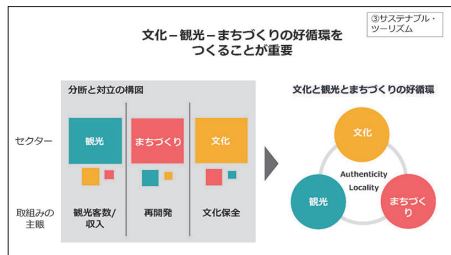
施設を整備することです。東京、大阪、京都にはグローバルブランドの5つ星ホテルがたくさんできましたが、地方部には高単価でラグジュアリーなホテルはほとんどありません。客室単価2万5000円程度の老舗旅館が、今も地域の一番宿だったりします。果たしてそこに目の肥えたお客さんが泊まりたいと思うのでしょうか。せっかく素晴らしい自然を楽しんでも、宿のレベルが低いと満足度が上がらないのではないのでしょうか。地方には文化財も古民家もたくさんありますので、それを上手に活用して日本の地方らしい宿泊体験をつくるのが大事ではないかと思います。宿ができれば次は体験コンテンツです。サステナブルツーリズムを今日のお題の一つに挙げましたが、サステナブルは環境負荷の低減だけの話ではありません。文化の持続可能性、あるいは現地の社会や経済の持続可能性も含めてのサステナブルです。宿が地方に足りないと言いましたが、個性的な宿泊施設が少しずつできています。室数は10室から30室、客室単価は15万円、20万円というレベルのものが地方にあと50できれば、日本の観光は圧倒的に変わります。なぜそれが



成立するかと言えば、日本は自然資源や文化資源がとても魅力的だからです。しかも羽田空港から1時間半か2時間あれば、かなり秘境的なところに到着できる交通網が整っています。そこに上質な宿泊施設をつくれれば必ず泊まる人が出てきて、地域にお金が落ちるようになります。さまざまな文化的な生業を体験コンテンツとしてマネタイズし、観光客にバトロンになっていただく。それを積み重ねることで単価の高い宿がつくれ、宿泊してくれるお客さん

が増えます。すると地域にお金落ち、結果的には地方創生につながります。こういう大きな循環をつくりましょうというのが、サステナブルツーリズムの本質的な意味合いです。

過去数年、私は全国の文化観光・自然観光などのコンテンツ開発を観光庁・文化庁の事業として支援してきました。その中で特に大事だと思っているのが、文化—観光—まちづくりをその地域の中で連携させることです。例えば古民家があり、文化資産が眠っているのであれば、それを活かす形でリノベーション中心のまちづくりをするべきです。観光に携わる人、文化を維持・保全する人、まちづくりをする人がベクトルを合わせ、それらが成り立つ



開発をしないと地方の観光を通じた日本の活性化は実現しません。以前からしっかりした仕事をされている事例の一つが尾道です。ここはしまなみ海道があり、故・大林宣彦監督の出身地ということで映画の町として知られていますが、古民家再生にも長く取り組まれています。宿泊施設の整備に関しては、地元の常石グループが実にセンスの良い宿を造っています。市役所にも文化に関して造詣が深い方がいらっしゃるようで、支所庁舎の設計を建築家の伊東豊雄さんに依頼して、公共施設にも文化的な価値を持たせる取り組みをなさっています。尾道の平谷市長は「たくさんのお客さんに来てもらおうとは思いません。でもこの尾道の自然と文化を愛してくれるお客さんにできればリーダーになってもらって、サポーターとして来ていただけるようなディスティネーション(旅行の目的地)を目指したい」という言い方をされています。尾道のような観光地が日本各地に増えてくるといいなと思っているところです。

さまざまなコンテンツということで、私自身が立ち上げた一般社団法人ナイトタイムエコノミー推進協議会がお手伝いしてきたものを4例ご紹介いたします。野沢温泉ではグリーンシーズンに1泊2日のキャンピング体験を1人当たり6万5千円で提供しています。キャンピングとしてはかなり高額ですが、やっていることはシンプルです。野沢は雪がたくさん降りますので、雪解けの水が豊富です。それがブナ林を育て、里に流れてきて肥沃な畑のもとになります。そこで収穫された野菜を地元のシェフに料理をしてもらい、ゆったり食べていただきます。そのあとはたき火の周りで夜中まで語り合うといった極めて緩い体験ですが、すでに4年間運営されています。奈良に

1300年の歴史を誇る大峯山という修験道の聖地があります。ここで海外の富裕層の方を中心に、1泊2日で日本の精神体験の究極の姿を味わってもらっています。先達に連れられて崖の上からロープで吊るされて説教される究極体験があったり、5時間ほどかけて山を上がって下りてくると昔から行者が体を清めていた温泉に宿泊していただきます。この体験コンテンツを2人組50万円で販売するプロデュースをしました。佐賀の『嬉野茶時』は、良質なお茶の産地のお茶農家さんが茶畑に天茶台と呼ぶ舞台をつくり、その上で少人数で1時間半ぐらいの特別な天茶体験を提供しています。3種類のお茶をいただいて料金は1万5千円です。京都に妙心寺春光院という塔頭寺院があります。この住職である川上全龍さんは40代と若く、アメリカ経験が長かったことから、コロナ期間中もオンラインで世界に向けて英語で禅を発信しておられました。この川上住職と2時間の禅対話を体験していただいたのち、宇治に移動して朝日焼16世の家元、松林豊斎さんと一緒にろくろを回していただいています。この経験を通じて京都の文化の一番深いところを理解してもらいつつ、自分と向き合う究極の時間を提供する。こんなパッケージのプロデュースもお手伝いしました。料金は最大1組4人5000ドルで、宿泊が入らない体験パッケージとしてはかなり高価格帯です。しかし日本にはプロデュース次第ではそのくらいの価値を付けられる文化が、まだまだたくさんあると思います。

富裕層には大きく2つあります。ひとつは旅の全ての要素に贅沢を求める伝統的な富裕層で、クラシックラグジュアリーと呼ばれています。もうひとつがモダンラグジュアリーと呼ばれるもう少し若い層です。彼らはメリハリのある観光体験を求めています。しかもモノを買うのではなくて、とにかく体験重視です。自分の視野を広げるような体験、自分の人生の転機になるような体験、新しい生涯の友をつくれるような体験。そのような体験を旅に求めるセグメントです。こういう意識の高い富裕層が世界中で増えていて、おそらく日本は彼らにすぐフィットします。我々としてはこのモダンラグジュアリー層をターゲットとして見据えたディスティネーションの開発をどれだけやっていけるかが、大事なテーマであると考えています。観光庁は2020年に取り組みをスタートさせて検討した結果、全国14のエリアに富裕層のためのモデル観光地を選び、宿、体験、人材、交通、プロモーションをセットにして取り組もうと動いているところです。大変駆け足になりましたが、以上で私の卓話とさせていただきます。



ロータリー財団

委員長 川中 清昭さん

ロータリー財団寄付金、再度のお願いです。今月の寄付金額は、100ドル若しくは15,000円です。12月末までに「ご寄付いただきますと、税金控除対応となります。手渡しでも事務所への振込でも結構です。奉仕活動の原資となる大事な寄付金です。ご理解を賜りよろしくお願ひ申し上げます。

ポリオプラス・ソサエティのご案内

ポリオプラス・ソサエティ・コーディネーター 波多野 容子さん

ポリオプラス・ソサエティ(PPS)は、毎年100ドル以上の「ポリオプラス」への寄付をお約束いただけるロータリー会員にご登録をお願いするものです。参加申込書にご記入の上、ご登録いただいた会員には、「登録証」と「ソサエティメンバーのピンバッジ」を受取っていただきます。尚、この寄付は各種認証(メジャードナー、ポールハリス・ソサエティ、ポールハリス・フェロー等)の対象となります。

ゴルフ同好会

代表世話人 尾形 偉幸さん

今年度の第2回同好会ゴルフコンペを12月11日(水)に「よみうりゴルフ倶楽部」にて開催いたしました。当日は好天にも恵まれ15名の参加者を得て楽しく開催することができました。磯部雅代会員及び宇都宮純子会員に初参加いただきました。戦績は優勝を尾形が、準優勝を平井幹久会員が、3位を磯部会員がそれぞれ獲得。武田会長からの会長賞は谷本篤洋会員がゲット。BG(90)は古川孝蔵会員が不本意と言いながら獲得。今回は通常のDC/NPに加えて、OB賞、バンカー賞、スコパ賞など誰でもゲットできる賞も準備し参加者全員が楽しめるコンペとしました。更に、特筆すべきは小幡敏之会員より多量のサプリが、熊崎善夫会員から癌検査キット(4セット)がまた奥田隆章会員から参加者全員分の無農薬レモンがそれぞれ差入されました。この場を借りて感謝申し上げます。チャリティの寄付金と参加費の残金はニコニコに寄付。次回は来年3月13日(木)に「相模カントリー倶楽部」での開催です。



武田 博史さん

梅澤様本日はようこそお越し下さいました。卓話たのしみしています。宜しく御願ひ致します。

徳江 陽子さん

2025年2月2日(日) 2PM大江戸線の終点「光が丘」の美術館コンサートのチラシをBOXに入れさせて頂きました。宜しくお願い致します。

高田 弘子さん

12月で忙(せわ)しない日々です。健康管理に気を付けて日々を過します。ニコニコ。

佐竹 律香さん

本日、東京目白ロータリークラブの那須朗良(ナス・アキヨシ)様、菊地克之(キクチ・カツユキ)様ようこそお越しいただきましてありがとうございます。

藤原 峰之さん

末っ子の娘が大学の推薦入試に合格しました。お父さんは後4年は頑張ります。ニコニコ。

中村 久瑠美さん

先日病院へ定期診断に行ったらどこも悪いところがなく血液検査の結果も全て標準値の範囲におさまっているので、健康優良高齢者といわれニコニコです。そうはいつでも健康寿命は迫ってきています一方、まだ個人的にやりたい研究課題があるので、恵比寿は年内いっぱい卒業させていただくことにしました。1995年11月の創立以来丸29年間、たのしく過ごさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。皆様ありがとうございました。来年の30周年には参加させていただきたく、よろしくお願ひします。

石田 充孝さん

久しぶりに出席できてニコニコです。

宇都宮 純子さん

夏に足をケガしましたがゴルフができるまでに回復しました。

	前回まで	1,155,700円
12月10日 8名	合計	45,000円
	年度合計	1,200,700円

本日もご協力いただきありがとうございました。

事務局より連絡

引き出しの中身をお持ち帰り頂きますようお願い致します。

12月のRILET 1ドル 150円

